

働く女性のワーキングスタイル発見マガジン

Actaleia



www.actaleia.com

April 2010
Vol.14
アクタレイア

TAKE FREE

ポジティブ

シンキング

のススメ

Working × Woman / 仕事 観



負けたばなしの小学生時代

「親の勧めもあったのですが、当時、柔道かバドミントンという二つの選択肢しかなくて」バドミントンを始めたという平山さん、小学生のときには、あまり成績は良くなく負けっぱなしだったのだそうです。それでも、平山さんは中学・高校とバドミントンを続けて成績を上げ、大学時代には、全日本学生選手権の団体戦で優勝、個人戦のシングルスでは準優勝を勝ち取ります。そして、ずっと続けてきたバドミントンを、社会人になってからも活かしていきたいなと思うようになったのだそうです。

二つの仕事の顔

スポーツ選手といえども、七十七銀行に所属する行員。「銀行での仕事をしながらバドミントンもやっている」いわば、二つの部署に所属しているようなイメージです。銀行の業務は、事務センターにて毎日14時まで担当。「お客様がパソコンを使って銀行に振込みや引き落としのデータを送ってきたものを処理するファームバンキングサーバーの仕事をしています」。一度に大量のデータが送られてくるので、内容に間違いがないかどうか確認しながら処理をするのも大変なのだとか。「お客様の立場にたって仕事をしよう心がけていますが、まだまだ覚えなくてはならないことがたくさんあります。それでも、電話の応対などでお客様からありがとと言うっていただく機会もあり、そんなときには本当にこの仕事をしてよかったと感じます」。平山さんには「平山に任せれば大丈夫」と太鼓判を押されて信頼をされるよ

ポジティブ シンキング のススメ

野球、サッカー、バスケット、仙台では今スポーツが盛んです。バドミントン競技でも

七十七銀行バドミントン部女子選手6名が日本リーグ1部で活躍。

毎日の銀行業務は14時で一区切り、

15時30分からは体育館に移動して練習、

時には20時過ぎまで練習を続けることも…。

銀行業務も競技も仕事、二つの顔をもつ皆さんの中から、

宮城県塩釜市出身の平山愛さんが、

「二つの仕事をこなすために」に努力していることについて

お話ししてくれました。



profile

1982年、宮城県塩釜市出身。小学校五年生のときにバドミントンを始め、聖ウルスラ学院中学から聖ウルスラ学院高校、つくば国際大学を経て、七十七銀行に入社。銀行業務を行いながら、バドミントンの選手としても活躍。2008年全日本社会人選手権大会シングルス第二位、2009年全日本社会人選手権大会シングルス第三位、2009年ランキングサーキットシングルスベスト16。

切り替えスイッチは自転車

一日の中で銀行業務とバドミントンの両方をこなすには、気持ちの切り替えが難しいのではと尋ねると、「切り替えスイッチは移動の自転車」のこと。「事務センターから体育館への移動には自転車を使っているのですが、そこで気持ちを切り替えます。体育館に着いたときにはバドミントンモードに切り替わっているようにしています」と、到着してからは遅いのだとか。試合に勝つたい！ という自分の気持ちと、試合を応援してくれる皆さんからの「がんばる勇気を教えてくれてありがとう」という言葉が、平山さんを前へ前へと進めてくれていくそうです。一度に二つ仕事をこなすのは大変ですね、という「好きなことを続けられて幸せです」と、コートの中一人で孤独な戦いをしているときの厳しい表情とは違う笑顔で答えてくれました。

「これからの目標は？」という質問に、「ステキな女性になる！」という言葉が返ってきました。仕事の目標を持ち、バドミントンの目標も持ち、

仕事を完璧にしたいという目標もあるのだろうか。そして、15時30分からはバドミントンの練習です。ウェアに着替えるとスポーツプレイヤーの表情に変身です。自分より強い相手と練習をしないと進歩しにくいといわれますが、平山さんも、シングルの練習試合では男性選手を相手にしたり、二人の選手を相手に1人対2人で練習したり。練習中の平山さんの表情は厳しく、特に、男性選手のスマッシュに手が届かなかつたり、フェイントでネット前に落とされたシャトルを返せなかつたりというときには、とても悔しそう。「練習は月曜以外毎日ですし、19時、20時と遅くなることもしばしば」だそうです。「好きなバドミントンを続けられて幸せだし、自分が考えている通りのプレーができたときには本当に嬉しいし、勝ったときには何より嬉しいしやりがいも感じます。」と平山さん。

勝負の瞬間にシャトルを力に

試合の応援にはたくさんの方がかけつけてくれるのですが、「お客様や会社の人たちが皆応援してくれている中で試合に負けてしまったときには、辛いですし悩んだりもしました。」誰かと比較されているかも、「すごく実力に差がついてしまったかも」とネガティブな思考回路に入ってしまうと、寝不足になったり食欲がなくなったりと体調を崩してしまうのだとか。「今は、ひとつひとつの試合で、「試合」という緊張感を楽しみながら自分の納得のいくプレーをしていくことが目標。」という平山さん、その積み上げが「一つ」につながっていくんですね。



Message

for Working × Woman

辛いとき、落ち込んだときには「良いことがし」をしています。些細なことでもよいのです。たとえば「信号が連続して青だった! ラッキー!」とか。無理やりにでも良いことを探していくと、前向きなプラス思考に自分を変えていくことができますよ! または、思いつきり体を動かして汗をかくのも良いのではないのでしょうか。



平山 愛さんの愛用品

1. サプリメント入れに使用している「レスポトサック」のポーチ。
2. 先輩から頂いた手帳。
3. スヌービーとミニーマウスのペン。
4. 好きな色の「赤」が入ったチェック柄のシュシュ。



そして一人の女性としての目標「内面から自分を磨いてステキな女性になる! 常にポジティブな心の姿勢をとる!」も持ち、それぞれ自分の中で切り分けができていく平山さん。ひとつひとつ着実に目標を達成していくに違いないと確信しました。

七十七銀行
バドミントン部

上段左から
大森 舞さん/高橋 美紀さん/今井 杏莉さん
下段左から
服部 麻衣さん/平山 愛さん/神 ゆかりさん

